

大学院 入学試験要項 **2026**

- 博士後期・博士課程（秋学期入学）



川崎医療福祉大学

はじめに

川崎医療福祉大学は、「医療福祉」という新しい言葉を世にはじめて伝えた大学として平成3年に創立し、今年度で35年目を迎えます。本学は単に、医療の専攻科と福祉の専攻科を兼ね備えた大学ではなく、医療と福祉が融合した学問として医療福祉学を重点的に教える大学です。開学以来、その総合的な内容と高度な医療福祉学の学術水準は、全国的に高く評価されていると確信しています。

平成8年度に大学院を創設し、学部・学科を基盤とした大学院として、教育の在り方を検討して参りました。その後、修士課程の増設ならびに博士後期・博士課程の開設を果たし、平成23年度からは3研究科体制のもとに、修士課程12専攻、博士後期・博士課程8専攻を擁立することとなりました。令和8年3月現在、修士の学位を取得した者1,175名、博士の学位を取得した者237名を数えております。

修士課程では、医療福祉分野の理論と実践についての知識と技能を修得する意欲の高い指導的人材を育成することをその目的としております。また、博士課程にあっては、専攻分野について自立して研究活動を行うと共に、専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力と豊かな学識を養うことが目的となります。今、時代は大きく変化しようとしています。医療福祉の分野では、その重要性の啓発もさることながら、その方策や社会組織についての変革が強く求められています。この分野で働く人々は、障がい者に直接的に働きかける仕事を基本としていますので、豊富な専門的知識と熟達した技術を修得するだけでなく、優れた理念と人間性を兼ね備えていなければなりません。本学の大学院は、そうした問題意識のもとに医療福祉を国際的に広く捉えて研究することのできる人材を育成いたします。私達は、新しい時代の指導者・研究者を目指す人々を心から歓迎いたします。

学長 椿原 彰夫

アドミッション・ポリシー（大学院）

川崎医療福祉大学大学院では、大学の理念と教育理念のもと、本大学院の目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、修士課程で養った医療福祉分野における高度な知識及び技能をもとに、専攻分野について自立して研究活動を行い、あるいは専門的業務に従事する意欲のある人

【医療福祉学研究科(博士後期課程)】

医療福祉学研究科では、本学大学院の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、医療福祉分野における指導的人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、これまでに修得した高度な専門知識や技能を更に向上させて医療福祉分野を発展させる資質と意欲のある人、医療福祉分野の新たな課題や新たな領域の開発に対し使命感を持って取り組もうとする人、及び国内外の医療福祉分野で専門性の高い研究・教育機関で活躍することを目指す人

【医療福祉学専攻(博士後期課程)】

医療福祉学専攻では、本学大学院及び本研究科の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、医療、福祉及び健康の分野における指導的人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、修士課程で養った、医療福祉分野における高度な知識及び技能をもとに、社会や環境や人権など、地域社会が抱える課題に対して使命感を持って挑みたい人、人の多様性を尊重することを重要と考えている人、学習と研究を通じて広く深い教養を身につけ論理的な思考と表現力を向上させたいと願う人、医療福祉分野の細分化された学問領域だけでなく、周辺の学問領域との統合化を指向する人

【臨床心理学専攻(博士後期課程)】

臨床心理学専攻では、本学大学院及び本研究科の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、臨床心理専門職として社会からの要請に応えることができる、十分な研究能力を有する人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、臨床心理学の研究のための基礎的な方法を身につけている人、論理的思考力がある人、臨床心理学の研究者や教育者を目指す人

【保健看護学専攻(博士後期課程)】

保健看護学専攻では、本学大学院及び本研究科の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、医療福祉の理念を根底に置き、医療・社会構造の変化や国際化などに伴い多様化するヘルスニーズに応えることのできる保健看護学領域の実践者、教育者及び研究者を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、探究心旺盛で自律的に研究活動を行い、保健看護学領域についての新たな知見を提供し、看護学という学問へ貢献する意欲のある人

【医療技術学研究科(博士後期課程)】

医療技術学研究科では、本学大学院の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、医療、福祉及び健康の分野において、医療技術学領域についての指導的人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、修士課程で養った、医療福祉健康分野における高度な知識及び技能をもとに、医療技術学に関して自立して研究活動を行い、あるいは専門的業務に従事する意欲のある人

〔感覚矯正学専攻(博士後期課程)〕

感覚矯正学専攻では、本学大学院及び本研究科の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、視覚、言語聴覚及び摂食嚥下障がい等の臨床に関わる指導的人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、修士課程で養った感覚矯正学分野における高度な知識及び技能をもとに、専攻分野について自立して研究活動を行い、あるいは専門的業務に従事する意欲のある人

〔リハビリテーション学専攻(博士後期課程)〕

リハビリテーション学専攻では、本学大学院及び本研究科の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、医療、福祉及び保健の分野において、リハビリテーションについての指導的人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、修士課程で養った医療福祉分野における高度な知識及び技能をもとに、リハビリテーション学に関して自立して研究活動を行い、あるいは専門的業務に従事する意欲のある人

〔健康科学専攻(博士課程)〕

健康科学専攻博士課程では、本学大学院及び本研究科の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、運動科学、栄養学、保健学を融合した健康科学の高度な理論と技術を有するとともにその進歩発展に寄与する人材の育成を行うために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 健康科学研究に旺盛な興味を持ち、課題解決に努力できる人
2. 運動科学研究、栄養学研究、保健学研究及びその融合を目指す人
3. 人々の健康維持増進のため、実践的な研究者・指導者を目指す人

〔医療技術学専攻(博士後期課程)〕

医療技術学専攻では、本学大学院及び本研究科の教育課程の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、医療、福祉及び保健の分野において、医療技術学についての指導的人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、修士課程で養った医療福祉分野における高度な知識及び技能に基づいて、医療技術学に関して自律して研究活動を行い、高い専門性を持って安全・安心を支える意欲のある人

〔医療福祉マネジメント学研究科(博士後期課程)〕

医療福祉マネジメント学研究科では、本学大学院の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、研究科の目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 博士後期課程においては、修士課程で養った医療福祉マネジメントの理論をもとに、専攻分野について自立して研究活動を行い、あるいは専門的業務に従事する意欲のある人

〔医療福祉マネジメント学専攻(博士後期課程)〕

医療福祉マネジメント学専攻博士後期課程では、本学大学院及び本研究科の入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえ、医療福祉とマネジメントに関する高度な専門知識と技術を有し、その進歩発展に寄与する研究能力を有する人材を育成するという目的を達成するために、以下の学生を入学者として求めている。

1. 修士課程で養った、専門分野における高度な知識及び技能をもとに、医療福祉マネジメント分野について自立して研究活動を行い、あるいは専門的業務に従事する意欲のある人

目次

はじめに

アドミッション・ポリシー（大学院）

博士後期・博士課程（秋学期入学） 入学試験要項 …………… 1～8

■ 募集人員等、入学試験日程、試験科目、選抜方法

■ 出願資格、出願に関する相談窓口

■ 出願書類

■ 出願手続き・方法、入学検定料及び納入方法、出願上の注意

■ 受験上の配慮希望について、合格発表、入学手続き

■ 2026 年度学費等、入学辞退

■ 入学資格審査

■ 受験についての諸注意

【博士後期・博士課程各研究科・専攻】 教育課程の概要 …………… 9～17

■ 出願書類記入上の注意 …………… 18～20

■ 試験会場 …………… 21

■ 「教育方法の特例措置」と「長期履修制度」について（お知らせ） … 22

出願書類

博士後期・博士課程(秋学期入学)入学試験要項

■ 募集人員等

研 究 科	専 攻	募集人員				修業 年限
		秋学期	1期※	2期※	合計	
医 療 福 祉 学 科 研 究 科	医 療 福 祉 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	3名	3年
	臨 床 心 理 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	2名	
	保 健 看 護 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	2名	
医 療 技 術 学 科 研 究 科	感 覚 矯 正 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	2名	
	リハビリテーション学専攻	若干名	若干名	若干名	2名	
	健 康 科 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	2名	
	医 療 技 術 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	2名	
医 療 福 祉 マ ネ ジ メ ン ト 学 科 研 究 科	医 療 福 祉 マ ネ ジ メ ン ト 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	2名	

※博士後期・博士課程1期、2期については、別冊子『大学院入学試験要項 2027 修士課程 博士後期・博士課程』をご確認ください。(6月上旬頃公開予定)

■ 入学試験日程

出 願 期 間 【消印有効】	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続 き 期 間 【消印有効】
2026年6月24日(水) ～6月30日(火)	2026年7月11日(土)	2026年7月15日(水) 午前9時	2026年7月15日(水) ～7月22日(水)

■ 試験科目

実 施 時 間	試 験 科 目	摘 要
10:00～11:30(90分)	筆記試験(専門科目) ※一部英語力を問う問題を含む	専攻分野に関連したもの
12:00～	口 述 試 験	主として専攻分野について個別に行う

■ 選抜方法

筆記試験(専門科目)(100点)、口述試験(100点)及び出願書類等の審査結果を総合的に評価する。

■ 出願資格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

1. 修士の学位若しくは学校教育法第104条第1項に規定する文部科学大臣の定める学位を有する者及び2026年9月末までにこれに該当する見込みの者
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年9月末までに授与される見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年9月末までに授与される見込みの者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年9月末までに授与される見込みの者
5. 文部科学大臣の指定した者 ※出願資格に該当する者は以下のとおり
 ※大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
6. 2026年10月1日現在で満24歳以上の者で、本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

※入学資格審査による受験を希望される方は事前に審査を受けていただく必要があります。期限までに本学所定の入学資格認定申請書類を入試課へ提出してください（7頁参照）。

■ 出願に関する相談窓口

出願前に志望する専攻の担当者と連絡をとり、出願要件・研究計画などについて、必ず事前相談を行ってください。電話番号：086-462-1111（代表）に電話し、以下の専攻担当者の内線番号と用件を伝えてください。

研究科	専攻	担当者	内線番号	
医療福祉学研究科	医療福祉学専攻	竹中麻由美	54908、54510	
	臨床心理学専攻	水子	54951、54556	
	保健看護学専攻	富田	54903	
医療技術学研究科	感覚矯正学専攻	岡	54632、54904	
	リハビリテーション学専攻	國安	54979	
	健康科学専攻	矢野	54952、54835	
	医療技術学専攻	臨床工学研究コース	茅野	54008、54657
		臨床検査学研究コース	通山	54001、54423
診療放射線技術学研究コース		小野	54063	
医療福祉マネジメント学研究科	医療福祉マネジメント学専攻	片岡	54906	

※担当者が不在の時は、電話をかけなおしていただく場合があります。

■ 出願書類

本学所定の書類等は、ホームページ「入試情報」よりダウンロードしてください。

書 類 等	摘 要
入学願書 (A票)	●本学所定の様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては、18～19頁の『出願書類記入上の注意』を参照してください。
職歴、実務経歴等 記入書 (B票)	
入学検定料納入案内書 (C票)	●入学検定料振り込み後、写真票D票(20頁参照)下部の所定箇所に、金融機関収納印が押された「入学検定料振込通知書【大学院】<②本人→大学>」を貼付してください。
写真票 (D票)	●無帽、背景無地、上半身正面向(縦4cm×横3cm)で3か月以内に撮影したものを、写真票D票(20頁参照)に貼付してください。 <u>裏面に志望専攻、氏名を必ず記入してください。</u> ●下部の所定箇所に入学検定料振込通知書を貼付すること。
受験票 (E票)	●本学所定の様式に必要事項を記入し、所定の金額(410円)分の切手を貼ってください(出願書類を持参する場合は、切手は不要です)。
※修了(見込)証明書 又は学位授与証明書	●出身大学院等が作成した証明書を提出してください(本学研究科修士課程出身者は不要です)。
※成績証明書(厳封)	●出身大学院等が作成し、 厳封された証明書 を提出してください。
※修士論文3部 (ア～ウのいずれか)	ア) 出身大学院に提出した修士学位論文の写しを提出してください(本学研究科修士課程出身者は提出不要です)。なお、修士学位論文提出以後の研究業績を有する者は、業績一覧及び主たる論文を併せて提出してください。 イ) 出身大学院で修士論文の提出を求められなかった者は、そのことを証明する書類及び上記ア)に替わる論文を提出してください。 ウ) 修士の学位を有しない者は、業績一覧及び主たる論文を提出してください。
・研究計画概要 ・研究計画書	●研究計画概要(本学所定の様式)及びその研究計画書(3000字程度、A4版、様式は自由)を提出してください。 ●パソコン(Word等)での作成を可とします。
宛名ラベル	●市販の角2封筒(24cm×33.2cm)に貼って使用してください。

(注) ※印の書類については、入学資格審査を通過した者は提出する必要はありません。

■ 出願手続き・方法

出願書類を一括で取り揃え、入学検定料を納入のうえ、本学所定の宛名ラベルを貼付した角 2 封筒 (24cm×33.2cm) に入れて、郵便局窓口から必ず簡易書留速達【消印有効】で郵送してください。

また、直接来学して手続きすることもできますが、その場合も入学検定料の振り込みは事前に済ませておいてください。来学して出願手続きをする場合の大学窓口受付時間は、以下のとおりです。

窓口受付時間	平日 9:00～17:00
	土曜日 9:00～12:30
日曜・祝日の受付業務は行いません。	

■ 入学検定料及び納入方法

入学検定料	納入方法
35,000 円	<ol style="list-style-type: none">1. 入学検定料は、振り込みに限ります。最寄りの金融機関（銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合）の窓口をご利用ください。ただし、ゆうちょ銀行では取り扱いできません。2. 入学検定料納入案内書㊟票①～③（19頁参照）に必要事項を記入し、切り離さずに金融機関に持参してください。振込依頼書には志願者本人の氏名を記入してください。3. 振り込み後、㊟票①・②に取り扱い金融機関の収納印があることを確認してください。なお、㊟票①は領収書となりますので切り離して大切に保管してください。

■ 出願上の注意

1. 出願前に志望する専攻の担当者と連絡をとり、出願要件・研究計画などについて、必ず事前相談を行ってください。（2頁参照）
2. 社会人の方で「教育方法の特例措置」と「長期履修制度」の適用を希望する場合は、22頁をご確認ください。
3. 一度提出された出願書類及び納入された入学検定料は、返還（返納）いたしません。
4. 受験票（㊟票）に志望研究科・専攻・氏名・性別を記入のうえ、所定の金額（410円）分の切手を貼付し、志願者受験票受取先の住所・氏名を記入してください（来学して提出される場合は切手は不要です）。
5. 受験票（㊟票）は、出願書類受付後に返送します（来学して出願書類を提出される場合、受験票はその場でお返しします）。万一、試験 3 日前になっても届かない場合は、入試課へお問い合わせください。
6. 来学して出願手続きをする場合は、あらかじめ入学検定料の振り込みを済ませておいてください。
7. 出願資格において、卒業（修了）見込みで受験し合格した者が、2026年9月末日までに卒業（修了）できないなど入学資格の条件を満たさないことが判明した場合は、入学手続きを取り消します。

■ 受験上の配慮希望について

障がい等の理由で受験に際し特別な配慮を必要とする場合は、事前に入試課に連絡のうえ、出願開始3週間前までに必要書類を提出してください。詳細は本学ホームページ・入試情報内の「受験上の配慮希望について」をご確認ください。

■ 合格発表

博士後期・博士課程(秋学期入学)：2026年7月15日(水) 午前9時

合格発表は、本学ホームページ (<https://w.kawasaki-m.ac.jp>) のみで行います。合格者には「合格通知」及び「学費・諸会費の振込用紙」、入学手続きに必要な「手続きに関するご案内」を本人あてに簡易書留速達で郵送します。合格者以外には通知しません。

合格者の辞退等により入学予定人数に達しなかった場合は、電話により追加合格の連絡を行うことがあります。

- (注) 1. 合格発表は本学ホームページで行います。受験番号(8桁)及び誕生日(4桁)を入力すると可否の確認ができます。
2. 可否に関する個別の問い合わせには、一切応じられません。

■ 入学手続き

博士後期・博士課程(秋学期入学)：2026年7月15日(水)～7月22日(水)【消印有効】

1. 入学手続きは、合格通知とともに送付する「手続きに関するご案内」に従い、入学手続き期間内に手続きを完了してください。期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。
2. 入学手続き期間内に納入金を納め、入学手続きに必要な書類を簡易書留速達【消印有効】で郵送してください。なお、大学窓口での納入金受付業務は行いません。
3. 入学手続きに必要な書類は以下のとおりです(①、③、⑤については所定の書類等を本学ホームページよりダウンロードしてください)。
 - ① 入学届及び誓約書
 - ② 学費・諸会費振込証明書(各1枚)
 - ③ 身元保証書
 - ④ 住民票又は住民票記載事項証明書
 - ⑤ 入学手続き完了通知

■ 2026年度学費等

(1) 学費（入学金を含む）

（単位：円）

区 分	入学金 （入学時のみ）	授業料/年 （分納金額）	教育充実費/年 （分納金額）	納入金合計/年 （入学手続き時納入金額）
全研究科・専攻	200,000	400,000 (200,000)	300,000 (150,000)	900,000 (550,000)

- ① 1年次は上記の学費が必要になります。授業料及び教育充実費は入学手続き時と4月の分納で、入学手続き時には入学金及び授業料・教育充実費の半額〔上記（ ）内の金額〕及び(2)諸会費の合計金額を納入してください。
なお、本学大学院修士課程修了者は入学金が免除されます。
- ② 1年次春学期以降の学費は入学金を除く金額で、年2回（4月と9月）の分納となります。詳細は本学ホームページ「入試情報-大学院-学費等-学費等の納入方法について」[📄](#)をご確認ください。
- ③ 入学手続き時の学費納入は、合格通知とともに送付する振込用紙を使用してください。
- ④ 上記一覧表の金額以外に、実験・実習に関する費用を別に負担していただく場合があります。

(2) 諸会費

入学手続き時に、諸会費として以下の協定会費を納入してください。（各研究科・専攻共通）

（単位：円）

内 訳	金 額	摘 要
協定会費	22,500	7,500×3年分

■ 入学辞退

入学金等納入後に入学を辞退する場合は、**2026年9月18日(金) 17:00**までに所定の入学辞退届を入試課へ提出してください。入学金以外の納入金を返納します。

(注) 郵送により入学を辞退する場合は、上記期限内の【必着】が条件となります。17:00以降の申し出については返納しません。

■ 入学資格審査

出願資格 6. (2頁参照) により出願を希望する者は、出願に先立ち入学資格審査を行うため、次の申請書類を入試課へ提出してください。本審査を通過した者に各専攻への出願資格を認めます。

(1) 申請期限

審査を受ける者は、以下(2)の申請書類を入学資格認定申請期限までに入試課へ提出してください。

入学資格審査結果は、出願開始日までに申請者あてに郵便で通知します。入学資格審査通過者は、本試験の出願期間に出願書類(3頁参照)を提出してください。

入学資格認定申請期限
2026年5月29日(金) 【当日必着】

(2) 申請書類

書 類 等	摘 要
※ 入学資格認定申請書	● 本学所定の用紙を使用してください。 ● 学歴は高等学校卒業から記入してください。
※ 入学資格認定申請理由書	● 本学所定の用紙を使用してください。
※ 教育研究業績一覧	● 本学所定の用紙を使用してください。
卒業(修了)証明書	● 出身学校等の学校長等が作成したものを提出してください。
成績証明書(厳封)	● 出身学校等の学校長等が作成し、厳封したものを提出してください。
免許状の写し	● 各専攻において、入学資格審査に係る各種免許状の写しを提出してください。

※ 本学所定の書類については、本学ホームページ「入試情報－大学院入学資格の個別審査」よりダウンロードできます。

(3) 入学検定料

入学資格審査における入学検定料は不要です。入学資格審査を通過し、本試験に出願する志願者のみ入学検定料を納入してください。

(4) 申請上の注意

- ・ 申請期限までにすべての書類を揃えてください。申請書類に不備がある場合は受理できません。
- ・ 郵送する場合は、封筒の表に「入学資格申請」と朱書きし、必ず簡易書留速達で郵送してください。

(5) 申請先

川崎医療福祉大学 入試課

〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288 (☎ 086-464-1004)

■ 受験についての諸注意

—試験前—

1. 受験票が試験3日前になっても届かない場合や試験前日までに受験票を紛失された場合は、入試課へお問い合わせください。(☎ 086-464-1004)
2. 入学試験に関する掲示物は、試験当日、会場に掲示します(21頁、**掲示場所**(地図★印)参照)。前日は校舎内及び試験会場内に立ち入ることはできません。

—試験当日—

1. 必ず受験票を持参してください。試験当日に受験票を紛失若しくは忘れた場合は、必ず試験会場内の総合案内に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
2. 試験開始後20分を超えて遅刻した場合は、受験できないことがあります。
3. 筆記試験では試験終了時刻まで退室できません。
4. 試験室には試験開始時刻の20分前までに入室し、受験番号と同じ番号の席に着き、受験票を机上の受験番号シールの手前に置いてください。
5. 机上には、受験票、筆記用具(黒鉛筆、鉛筆用のキャップ、シャープペンシル、消しゴム)、鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ等は不可)、時計(計算機能・辞書機能・スマートフォンなどの電子機器類と接続機能があるもの、大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)、目薬のみ置くことができます。
6. スマートフォンはアラームを解除したうえで電源を切り、かばんにしまってください。また、腕時計等アラーム機能がある場合は解除してください。
7. 試験終了後は試験場内に残らず、速やかに帰宅してください。
8. 試験会場付近での印刷物の配布等については、本学とは一切関係ありません。トラブルのないよう十分注意してください。

【博士後期・博士課程各研究科・専攻】 教育課程の概要

2026年度の教育課程の概要を次頁から掲載しています。

授業科目の内容及び担当教員は、本学ホームページ

(<https://mwweb.kawasaki-m.ac.jp/syllabus/>) に掲載していますので、そちらをご覧ください。

【医療福祉学研究科医療福祉学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
論基礎研究	医療福祉学特殊講義	1		2
	社会福祉学特殊講義	1		2
基礎関連研究	地域福祉学特殊講義	1		2
	精神医学特殊講義	1		2
	人間行動学特殊講義	1		2
	医療人類学特殊講義	1		2
	地域保健福祉学特殊講義	1		2
	医療福祉施設運営特殊講義	1		2
	社会政策・社会保障特殊講義	1		2
	医療福祉制度特殊講義	1		2
	海外福祉事情特殊講義	1		2
実践関連研究	障害者医療福祉実践特殊講義	1		2
	高齢者医療福祉実践特殊講義	1		2
	児童・家族医療福祉実践特殊講義	1		2
	地域医療福祉実践特殊講義	1		2
	発達障害児（者）医療福祉実践特殊講義	1		2
医療福祉学特殊研究		1~3	12	

修了要件・特殊講義4単位以上（2科目以上）及び特殊研究12単位以上の合計16単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・主指導教員の担当する特殊講義2単位、及び特殊研究12単位を必ず履修すること。
 - ・特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。
 - ・履修する特殊講義（2科目以上）は、必ずしも同一の研究分野に属している必要はない。
 - ・特殊講義は、他研究科・他専攻の開講科目を履修し、その修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉学研究科臨床心理学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
論基礎研究	心理学基礎理論特殊講義	1		2
	臨床心理学特殊講義	1		2
基礎関連研究	社会心理学特殊講義	1		2
	障害心理学特殊講義	1		2
	発達心理学特殊講義	1		2
	教育心理学特殊講義	1		2
	認知心理学特殊講義	1		2
	学習・行動心理学特殊講義	1		2
研臨床関連	医療臨床心理学特殊講義	1		2
	福祉臨床心理学特殊講義	1		2
	教育臨床心理学特殊講義	1		2
臨床心理学特殊研究		1~3	12	

修了要件・特殊講義4単位以上（2科目以上）及び特殊研究12単位以上の合計16単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 履修方法
- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
 - ・主指導教員の担当する特殊講義2単位、及び特殊研究12単位を必ず履修すること。
 - ・特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。
 - ・履修する特殊講義（2科目以上）は、必ずしも同一の研究分野に属している必要はない。
 - ・特殊講義は、他研究科・他専攻の開講科目を履修し、その修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療福祉学研究科保健看護学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
発達期看護学研究	基礎看護学特殊講義	1		2
	基礎看護学特殊研究	1~3		12
	ウィメンズヘルス看護学特殊講義	1		2
	ウィメンズヘルス看護学特殊研究	1~3		12
	小児看護学特殊講義	1		2
	小児看護学特殊研究	1~3		12
	成人看護学特殊講義	1		2
	成人看護学特殊研究	1~3		12
	高齢者看護学特殊講義	1		2
	高齢者看護学特殊研究	1~3		12
包括的地域看護学研究	在宅看護学特殊講義	1		2
	在宅看護学特殊研究	1~3		12
	精神看護学特殊講義	1		2
	精神看護学特殊研究	1~3		12
	公衆衛生看護学特殊講義	1		2
	公衆衛生看護学特殊研究	1~3		12
研究支援科目	医療福祉学特殊講義	1		2
	看護統計学特殊講義	1		2

修了要件・特殊講義4単位以上（2科目以上）及び特殊研究12単位以上の合計16単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・主指導教員の担当する特殊講義2単位、及び特殊研究12単位を必ず履修すること。
 - ・特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、いずれか1分野の12単位を修得すること。
 - ・履修する特殊講義（2科目以上）は、必ずしも同一の研究分野に属している必要はない。
 - ・研究支援科目研究分野の特殊講義は、他研究科・他専攻の開講科目を履修し、2単位を上限にその修得単位を修了要件に加えることができる。

【医療技術学研究科感覚矯正学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
視能矯正学研究	視覚臨床生理学特殊講義	1		2
	視覚臨床病理学特殊講義	1		2
	視能矯正・訓練学特殊講義	1		2
	臨床視能矯正学特殊講義	1		2
言語聴覚学研究	言語聴覚生理学特殊講義	1		2
	医療言語聴覚学特殊講義	1		2
	臨床言語聴覚学特殊講義	1		2
	音声言語病理学特殊講義	1		2
	言語発達障害学特殊講義	1		2
感覚高次脳機能学研究	臨床感覚病理学特殊講義	1		2
	高次脳機能学特殊講義	1		2
	高次脳機能局在学特殊講義	1		2
	感覚矯正学特殊講義	1		2
	感覚解剖学特殊講義	1		2
感覚矯正学特殊研究		1~3	12	

修了要件・特殊講義4単位以上（2科目以上）及び特殊研究12単位以上の合計16単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・主指導教員の担当する特殊講義2単位、及び特殊研究12単位を必ず履修すること。
 - ・特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。
 - ・履修する特殊講義（2科目以上）は、必ずしも同一の研究分野に属している必要はない。
 - ・特殊講義は、他研究科・他専攻の開講科目を履修し、その修得単位を修了要件単位に加えることができる。
 - ・特殊講義は、「感覚高次脳機能学研究」分野から1科目を必ず選択すること。

【医療技術学研究科リハビリテーション学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
リハビリテーション学基礎研究	リハビリテーション学特殊講義	1		2
	運動学特殊講義	1		2
	障害回復学特殊講義	1		2
	障害代償学特殊講義	1		2
理学療法学研究	理学療法学特殊講義Ⅰ	1		2
	理学療法学特殊講義Ⅱ	1		2
作業療法学研究	作業療法学特殊講義Ⅰ	1		2
	作業療法学特殊講義Ⅱ	1		2
リハビリテーション学特殊研究		1~3	12	

修了要件・特殊講義4単位以上（2科目以上）及び特殊研究12単位以上の合計16単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・ 主指導教員の担当する特殊講義2単位、及び特殊研究12単位を必ず履修すること。
 - ・ 特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。
 - ・ 履修する特殊講義（2科目以上）は、必ずしも同一の研究分野に属している必要はない。
 - ・ 特殊講義は、他研究科・他専攻の開講科目を履修し、その修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科健康科学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
運動科学研究	運動生理学特殊講義	1		2
	運動栄養学特殊講義	1		2
	生涯スポーツ医学特殊講義	1		2
	健康免疫学特殊講義	1		2
	身体運動学特殊講義	1		2
保健学研究	健康管理学特殊講義	1		2
	臨床栄養学特殊講義Ⅰ	1		2
	臨床栄養学特殊講義Ⅱ	1		2
	高齢者栄養学特殊講義	1		2
	病態栄養学特殊講義	1		2
	健康教育学特殊講義	1		2
栄養学研究	食品栄養学特殊講義	1		2
	食品生化学特殊講義	1		2
	栄養微生物学特殊講義	1		2
	栄養生理学特殊講義	1		2
	食品衛生学特殊講義	1		2
健康科学特殊研究		1~3	12	

修了要件・特殊講義4単位以上（2科目以上）及び特殊研究12単位以上の合計16単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・主指導教員の担当する特殊講義2単位、及び特殊研究12単位を必ず履修すること。
 - ・特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。
 - ・履修する特殊講義（2科目以上）は、必ずしも同一の研究分野に属している必要はない。
 - ・特殊講義は、他研究科・他専攻の開講科目を履修し、その修得単位を修了要件単位に加えることができる。

【医療技術学研究科医療技術学専攻】

研究分野	授 業 科 目	配当 年次	単 位	
			必修	選択
医療技術学基礎研究	医療技術学特殊講義	1	2	
	英語論文特殊講義	1		2
	英語プレゼンテーション特殊講義	1		2
	先端医学研究特殊講義	1		2
臨床工学研究	臨床工学特殊講義	1		2
	先進医療学特殊講義	1		2
	先端医療機器学特殊講義	1		2
	医療安全学特殊講義	1		2
	生体情報システム工学特殊講義	1		2
	生体機能解析学特殊講義	1		2
臨床検査学研究	高次生理機能解析学特殊講義	1		2
	臨床化学分析学特殊講義	1		2
	臨床検査情報解析学特殊講義	1		2
	分子病態解析学特殊講義	1		2
	組織・細胞解析学特殊講義	1		2
	感染防御学特殊講義	1		2
診療放射線技術学研究	画像情報理工学特殊講義	1		2
	放射線計測管理学特殊講義	1		2
	放射線画像検査技術学特殊講義	1		2
	医用画像検査技術学特殊講義	1		2
	放射線治療技術学特殊講義	1		2
医療技術学特殊研究		1~3	12	

<臨床工学研究コース>

修了要件

- ・医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、臨床工学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法

- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

<臨床検査学研究コース>

修了要件

- ・医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、臨床検査学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法

- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

<診療放射線技術学研究コース>

修了要件

- ・医療技術学基礎研究より2単位以上（必修2単位）、診療放射線技術学研究より研究指導を受ける教員の担当する特殊講義を2単位以上、研究指導を受ける教員の担当する医療技術学特殊研究の必修12単位、合計16単位以上を修得の上、博士論文を作成し、最終試験に合格すること。

履修方法

- ・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・医療技術学特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。

【医療福祉マネジメント学研究科医療福祉マネジメント学専攻】

研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
診療・生体情報研究	医療福祉マネジメント学特殊講義	1		2
	ヘルスデータサイエンス特殊講義	1		2
	医療情報管理学特殊講義	1		2
	医療情報システム学特殊講義	1		2
	生体システム工学特殊講義	1		2
	生体情報工学特殊講義	1		2
	国際医療情報ネットワーク特殊講義	1		2
	医用画像工学特殊講義	1		2
数理・電子情報研究	福祉情報工学特殊講義	1		2
	非線形科学特殊講義	1		2
	応用数値解析特殊講義	1		2
	数値解析特殊講義	1		2
	応用解析特殊講義	1		2
医療情報学特殊研究	1~3		12	
医療福祉マネジメント学特殊研究	1~3		12	

修了要件・特殊講義4単位以上（2科目以上）及び「医療情報学特殊研究」「医療福祉マネジメント学特殊研究」のいずれかの特殊研究12単位以上の合計16単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
 ・主指導教員の担当する特殊講義2単位、及び特殊研究12単位を必ず履修すること。
 ・特殊研究は、1年次から3年次にかけて連続して履修し、12単位を修得すること。
 ・履修する特殊講義（2科目以上）は、必ずしも同一の研究分野に属している必要はない。
 ・特殊講義は、他研究科・他専攻の開講科目を履修し、その修得単位を修了要件単位に加えることができる。

■ 出願書類記入上の注意

※本学ホームページから出願に必要な書類をダウンロードしてください。プリントアウトする際は、A4用紙・等倍で印刷してください。用紙サイズの変更や特殊な印刷設定はしないでください。

1. 提出に必要な書類は黒のボールペンで記入してください。フリクションなどの消えるボールペンは使用しないでください。
2. 書体は楷書と算用数字を用いて丁寧に記入してください。
3. 受験番号欄には記入しないでください。
4. 『職歴、実務経歴等記入書』（㊟票）は就職していた期間が分かるようにしてください。該当事項がない場合は「なし」と記入してください。
5. 『入学検定料納入案内書』（㊞票）を使用して最寄りの金融機関から振り込んでください。入学検定料納入後、「振込通知書<②本人→大学>」を切り離して『写真票』（㊞票）下部の所定箇所に貼付してください。「振込領収書<①本人控>」は自身で保管しておいてください。振込依頼書<③>」は金融機関の取り扱いとなります。
6. 『受験票』（㊟票）は必要事項を記入し、所定の金額（410円）分の切手を貼ってください。出願書類を持参する場合は、切手は不要です。
7. 『研究計画概要』は、本学所定の様式であればパソコン（Word等）での作成を可とします。『研究計画書』の様式は自由です。
8. 出願書類の記入ミスについては、二重線を引き訂正印を押し、空いたスペースに正しい内容を記入してください。
9. 提出書類に記入漏れ・不備がある場合は受理できないので、提出前に再度確認してください。

【大学院入学願書（㊟票）記入例】

フリガナはカタカナで記入し、姓と名の間は1ワク空けてください。また、濁点・半濁点は1ワクとしてください。

事前相談した教員名を必ず記入してください。

職を有している場合は、有職者に○をししてください。

202●年度 川崎医療福祉大学大学院入学願書 ㊟			
博士後期・博士課程 出願期間：202●年●月●日(●)～202●年●月●日(●) [消印有効]			
フリガナ カワサキキョウキハシケン		受験番号	※記入しない
氏名	川崎 一	生年月日	昭和●年●月●日生
旧姓	()	性別	男 ○ 女
課程	博士後期・博士	専攻	医療技術学 感覚矯正学 視能矯正学
事前相談教員名	松島 二郎	研究科	研究科
出身大学等	川崎医療福祉大学 川崎医療福祉大学	学部	昭和●年●月●日生 令和●年●月●日生
出身大学等	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 外国の大学 5. その他	学科	令和●年●月●日生
出願時の身分	1. 学生 2. 研究生 3. 有職者(非常勤職員・パートタイムを除く) 4. その他	専攻	令和●年●月●日生
現住所	〒701-0193 岡山県倉敷市松島288(倉敷太郎方)	電話番号	(086) 462-1111
学籍	●年●月 私立 川崎 高等学校卒業	電話番号	(090) XXXX-△△△△ (特)
学籍	●年●月 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部視能療法学科 卒業		
学籍	●年●月 川崎医療福祉大学大学院医療技術学専攻視能矯正学専攻(修士) 修了		
学籍	年月		

『感覚矯正学専攻・医療技術学専攻』の志願者は、該当コース名を記入してください。

<コース名>

- ・視能矯正学（コース）
- ・言語聴覚学（コース）
- ・感覚高次脳機能学（コース）
- ・臨床工学研究（コース）
- ・臨床検査学研究（コース）
- ・診療放射線技術学研究（コース）

志願者又は家族に必ず連絡のつく連絡先を記入してください。

別姓の場合に記入。

修了見込みの場合は○○○専攻修了見込と記入してください。

【出願書類（㊟票～㊨票）記入例】

202●年度 写真票 < 大学院 >

課 程	博士後期・博士		
受験番号	※記入しない		
フリガナ	カワサキ ハナコ	男・	
氏 名	川崎花子	(女)	

写真貼付欄

1. 正堂上向き撮影
2. 3か月以内撮影したもの
3. 横4cm×縦3cm
4. 全席無付（裏面に希望専攻、氏名を記入）

川崎医療福祉大学

入学検定料振込通知書【大学院】
<②本人→大学> 貼付欄

写真の裏面に志望専攻、氏名を記入した後、貼付してください。背景は無地。（服装は自由）

金融機関の収納印が押された振込通知書（㊟票②）を貼付してください。

202●年度 川崎医療福祉大学大学院受験票

課 程	博士後期・博士		
研究科専攻	医療福祉学 研究科	保健看護学 専攻	
受験番号	※記入しない		
フリガナ	カワサキ ハナコ	男・	
氏 名	川崎花子	(女)	

大学受付印

※大学受付印のないものは無効

<大学院入試日程>
博士後期・博士（秋季期入学）試験日：202●年●月●日（●）

試験会場	本学本館棟	
期次・時	10:00～11:30	筆記試験（専門科目） <small>※一部、英語力を問う問題を含む</small>
	12:00～	口述試験

受験上の注意

- 試験当日は、試験開始時刻の20分前までに、試験室・口述試験待機室に入室し、着席してください。なお、入室は9:00からです。
- 試験開始後20分を超えて着席しない場合は、受験できないことがあります。
- 筆記試験では試験終了時刻まで入室できません。
- 受験時には受験票を以上の受験番号シールの順番に置いてください。
- 机には、受験票、筆記用具（黒鉛筆、鉛筆用のキャップ、シャーペン、消しゴム）、鉛筆削り（電動式、大型のもの、タイプ等は不可）、時計（計量機能・振動機能・スマートフォンなどの電子機器類と接続機能のあるもの、大型のもの不可）、眼鏡、ハンコ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬のみ乗ることができます。

なお、合格発表は202●年●月●日（●）午前9時から、本学ホームページにて行います。

410円
分の手を貼付すること
(郵便印)

7010193

速達

[志願者受験票受取先]

岡山県倉敷市

松島288

(倉敷太郎 様方)

[志願者氏名]

川崎花子 様

(注)
所定の金額（410円）分の切手を貼ってください。

出願書類を持参する場合は、切手は不要です。

志願者本人に確実に届く住所を記入してください。

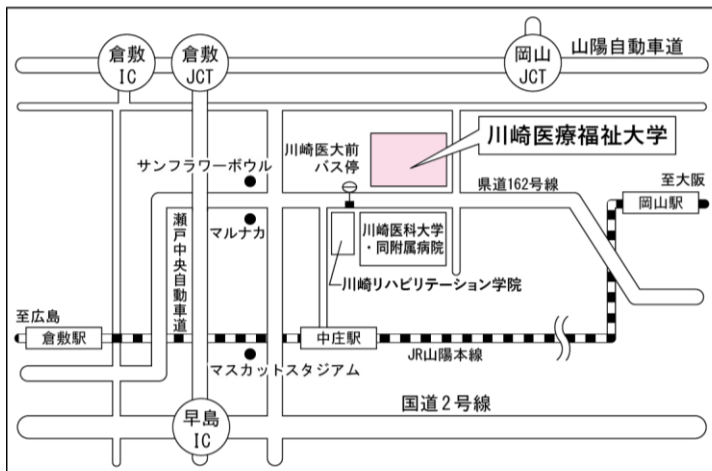
出願書類を持参する場合も住所・氏名は記入してください。

志願者本人に確実に届く住所を記入してください。

(注)
所定の金額（410円）分の切手を貼ってください。出願書類を持参する場合は切手不要ですが、住所・氏名を記入してください。

■ 試験会場

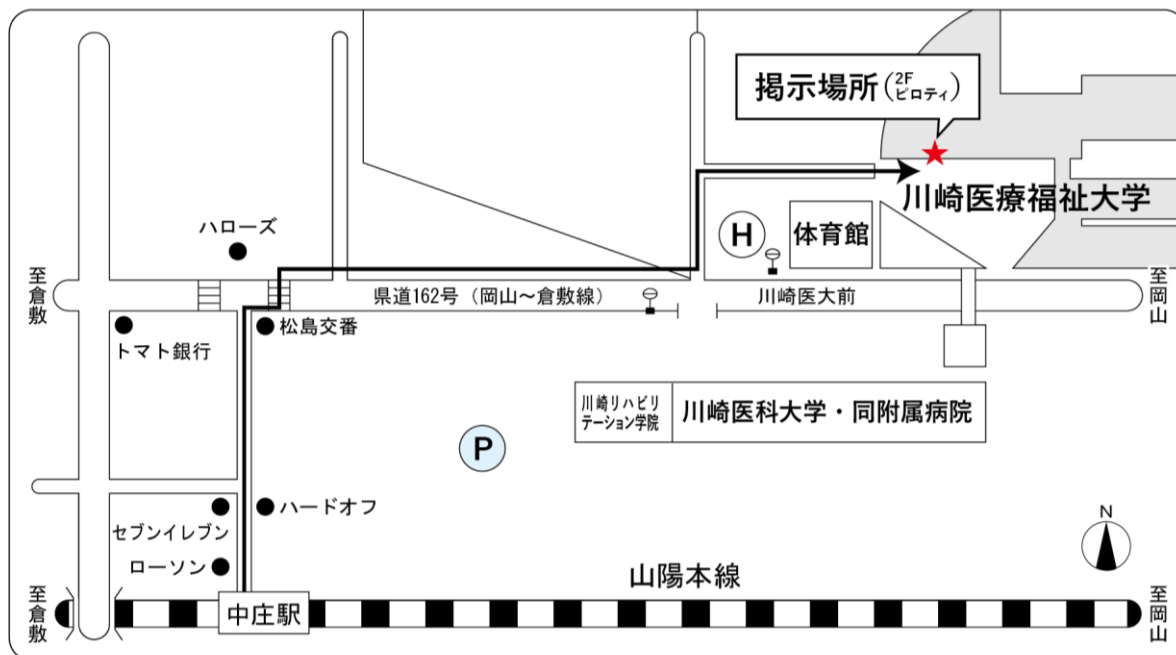
本学 岡山県倉敷市松島288



交通機関

- JR中庄駅（岡山駅から12分、倉敷駅から4分）下車、徒歩15分（駅前からタクシー利用5分）
- 新幹線利用の方は上り・下りとも岡山駅で下車し、上記電車を利用してください。

[駅からの経路及び入学試験に関する掲示板設置場所]



※車でお越しの場合は、川崎医科大学附属病院第2外来駐車場（地図P印）をご利用ください。なお、受験に際し駐車場を利用した場合は駐車券をお渡しますので、試験会場内の総合案内へお申し出ください。

■ 「教育方法の特例措置」と「長期履修制度」について（お知らせ）

本学では、社会人に対して多様で柔軟な学習機会を提供し、大学院の授業及び研究指導を受けやすくするため、「教育方法の特例措置」と「長期履修制度」を設けています。

「教育方法の特例措置」とは、職業を有している等の事情により、通常の授業時間帯での修学が困難であると認められる大学院生に対して、月曜日から金曜日の6時限（18：00～19：30）、7時限（19：40～21：10）及び土曜日の3時限（12：45～14：15）、4時限（14：25～15：55）においても、正当な要請に応じて授業を開講するものです。また、専攻によっては、メディアを利用して遠隔配信で行う授業を開講することもできます。教育方法の特例措置を希望される方は、入学後のオリエンテーションにおいて、時間割及び履修計画について指導教員に相談のうえ、時間割の調整を行ってください（申請書類はありませんが、一部の授業科目では認められない場合があります）。

また、「長期履修制度」とは、大学院生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、修士課程では最長4年、博士後期・博士課程では最長6年の計画的な履修を認める制度です。長期履修が認められた場合は、通常の修業年限において支払う授業料等の総額を、長期履修期間として認められた期間内の学期毎（年2回）に分割して納付することになります。したがって、修士課程の場合、長期履修で3年又は4年在学した場合でも授業料等は2年分となり、本制度を利用しないで留年した場合と比べ、経済的負担が軽減されます。ただし、日本学生支援機構「大学院修士段階における『授業料後払い制度』」の利用を希望する場合は、教育充実費のみを分割して納付することになります。

この制度は、在学中の学生が就業状況等の変化により、申請条件を満たした場合は、在学途中からでも申請できます（ただし、その場合の長期履修期間は、未修学年数の2倍に相当する年数以内）。

なお、特別な事情がないにもかかわらず長期間かけて修了することの希望や、学業不振を理由に長期履修制度を利用して修業年限を延長するなどは、本制度の趣旨に沿わないので対象になりません。その他、長期履修期間の延長は認められませんが、履修期間の短縮又は取りやめは認められます。ただし、変更が許可された方は、短縮等が認められた時点で、変更期間に応じた授業料等を納付しなければなりません。

また、長期履修学生が休学した場合には当該休学期間に相当する期間を長期履修期間に加えることとなるため、長期履修制度を利用する場合は慎重に履修計画を立てる必要があります。

★長期履修の申請について

長期履修を希望される新生は、入学手続きの際に案内する「長期履修申請書」に、次の(1)～(2)どちらかの書類を添えて、申請期限（10月上旬）までに教務課へ提出してください。

1. 提出書類：長期履修申請書に次のどちらかの書類を添付
 - (1) 在職証明書又は在職していることが証明できる書類（勤務先の証明が必要です）
 - (2) 長期履修が必要となる事情を証する書類
2. 長期履修の申請に関する問い合わせ先
事務部教務課（086-464-1021 直通）

出願書類

2026年度 川崎医療福祉大学大学院入学願書 ^④

博士後期・博士課程 出願期間：2026年6月24日(水)～2026年6月30日(火) [消印有効]

一出願書類記入上の注意— <input type="checkbox"/> 色枠内を記入してください。										受験番号				
フリガナ										生年月日	昭和 平成	年	月	日生
氏名	旧姓 ()									性別	男 ・ 女			

課程	博士後期・博士	志望 研究科 ・ 専攻	研究科
出願前相談 教員名			専攻
			課程のコース (感覚矯正学専攻・医療技術学専攻志願者のみ記入)
			コース

出身 大 学 等	大 学 短 期 大 学 高 等 専 門 学 校 専 門 学 校	学 部	昭和 平成 令和	年 月 卒 業 卒業見込
	1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 外国の大学 5. その他			
	(修士課程)	学 科	研究科	昭和 平成 令和
	大学院	専 攻	専 攻	年 月 修 了 修了見込
1. 国立 2. 公立 3. 私立 4. 外国の大学 5. その他				
出願時の身分	1. 学生 2. 研究生 3. 有職者(非常勤職員・パートタイムを除く) 4. その他			

現 住 所	郵便番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	電話番号	() -
	都道府県	市区郡		緊急連絡先 (携帯電話)	() -	所有者 ()			

学 歴	昭和 平成 令和	年 月	立	高等学校卒業
	昭和 平成 令和	年 月		
	昭和 平成 令和	年 月		
	昭和 平成 令和	年 月		
	昭和 平成 令和	年 月		
	昭和 平成 令和	年 月		

大学等で研究生としての在学歴がある場合は、その期間も記入してください。

職歴、実務経験歴等は別紙「職歴、実務経験歴等記入書」に記入してください。
 本学では出願時に提出された個人情報は、入学者選抜及び入試統計以外の目的には利用しません。

2026年度 職歴、実務経験歴等記入書

受験番号

※

研究科

専攻

コース

氏名

実務経験歴・研究歴（職歴を含む）	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	
	昭和 平成 令和	年	月	

取得免許・資格	取得見込み	令和	年	月		令和	年	月	
	既取得	昭和 平成 令和	年	月		昭和 平成 令和	年	月	
		昭和 平成 令和	年	月		昭和 平成 令和	年	月	
		昭和 平成 令和	年	月		昭和 平成 令和	年	月	

出願研究科と関わりが分かるように記入してください。
該当事項がない場合は「なし」と記入してください。

(注) ※印欄は記入しないでください。

2026年度 川崎医療福祉大学入学検定料納入案内書



- ★入学検定料は、取扱期間内に本用紙を使用して最寄りの金融機関から振り込んでください。
- ★入学検定料振り込みの際は以下の点にご注意ください。
 - ・入学検定料はゆうちょ銀行を除く金融機関でお振り込みください。
 - ・お振り込み後、振込通知書<②本人→大学>を写真票下部の所定箇所に貼付してください。

川崎医療福祉大学 入試課
〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288
電話 (086) 464-1004

テレ扱 ①本人控

2026年度入学検定料振込領収書【大学院】

金額	¥35,000
振込先	中国銀行 川崎学園出張所
受取人	川崎医療福祉大学
入試区分	大学院入試
志願者氏名	

※収納印なきものは無効です。
※志願者本人が大切に保管してください。

上記のとおり、領収しました。

令和 年 月 日

取扱
金融機関
収納印
1

テレ扱 ②本人→大学

2026年度入学検定料振込領収書【大学院】

金額	¥35,000
振込先	中国銀行 川崎学園出張所
受取人	川崎医療福祉大学
入試区分	大学院入試
志願者氏名	

※収納印なきものは無効です。

上記のとおり、振り込みました。

令和 年 月 日

取扱
金融機関
収納印
2

<取扱金融機関で切り離してください>

2026年度 川崎医療福祉大学入学検定料振込依頼書【大学院】

電信扱

③

修士 5	振込先	中国銀行 川崎学園出張所	(普通) 1261230	現金	内訳	照合印		
	口座名	学校法人 川崎学園	金額 ¥3 5 0 0 0					
博士 6	受取人連絡先	岡山県倉敷市松島 288 電話 (086) 462-1111 (代)			手数料	円	検印	
	整理番号	(フリガナ)			〒 -	円		
	試験区分	専攻番号	志願者氏名					志願者連絡先
	○	◎						

【受験生のみなさん】は、○印欄へ試験区分番号を記入してください。
◎印欄へ志望専攻番号を記入してください。

- | | | | |
|------------|------------|-----------------|------------------|
| 医療福祉学専攻…11 | 感覚矯正学専攻…22 | リハビリテーション学専攻…25 | 医療秘書学専攻…32 |
| 臨床心理学専攻…12 | 健康体育学専攻…23 | 健康科学専攻…26 | 医療福祉デザイン学専攻…33 |
| 保健看護学専攻…13 | 臨床栄養学専攻…24 | 医療技術学専攻…27 | 医療情報学専攻…34 |
| | | 医療福祉経営学専攻…31 | 医療福祉マネジメント学専攻…35 |

取扱金融機関
へのお願い

- 太枠内を打電してください。(2)整理番号3桁を氏名頭部に打電してください。
- ①～③票に収納印を押印のうえ、③票以外を振込人へ渡してください。(4)取扱期間以外は受け付けないでください。

取扱期間：〔博士後期・博士課程〕2026年6月23日(火)～2026年6月30日(火)

取扱
金融機関
収納印
3

2026年度 写真票 < 大学院 >

課 程	博士後期・博士	
受験番号		
フリガナ		男 ・ 女
氏 名		

写真貼付欄

1. 正面上半身脱帽
2. 3か月以内に撮影したもの
3. 縦4cm×横3cm
4. 全面糊付（裏面に志望専攻・氏名を記入）

川崎医療福祉大学

入学検定料振込通知書【大学院】

<②本人→大学> 貼付欄

2026年度 川崎医療福祉大学大学院受験票

課程	博士後期・博士	
研究科 専攻	研究科	専攻
受験番号		
フリガナ		男・女
氏名		

<大学院入試日程>

博士後期・博士（秋学期入学） 試験日：2026年7月11日(出)

試験会場	本学本館棟	
博士後期・博士	10:00～11:30	筆記試験（専門科目） ※一部、英語力を問う問題を含む
	12:00～	口述試験

受験上の注意

- 試験当日は、試験開始時刻の20分前までに、試験室に入室し、着席してください。なお、入室は9:00からです。
- 試験開始後20分を超えて遅刻した場合は、受験できないことがあります。
- 筆記試験では試験終了時刻まで退室できません。
- 受験時には受験票を机上の受験番号シールの手前に置いてください。
- 机上には、受験票、筆記用具（黒鉛筆、鉛筆用のキャップ、シャープペンシル、消しゴム）、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ等は不可）、時計（計算機能・辞書機能・スマートフォンなどの電子機器類と接続機能があるもの、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬のみ置くことができます。

なお、合格発表は **2026年7月15日(水) 午前9時**から、本学ホームページにて行います。

大学受付印

※大学受付印のないものは無効

速達

410円

分切手を貼付
すること。
(郵送出願の
場合のみ)

[志願者受験票受取先]

() 様方)

[志願者氏名]

様

(注)

所定の金額（410円）分の切手を貼ってください。

出願書類を持参する場合は、切手は不要です。

志願者本人に確実に届く住所を記入してください。

出願書類を持参する場合も住所・氏名は記入してください。

速達



川崎医療福祉大学

入試課

〒701-0193 岡山県倉敷市松島 288

TEL. (086)464-1004

<https://w.kawasaki-m.ac.jp>